

第92回：泣く子も黙る弁公室

仕事柄、講演会や連載、寄稿等の機会が多く、ときに見知らぬ方から手紙やインターネット・メールを頂くことがある。こないだ若い方から頂いた手紙に「随分幅広いジャンルの本を読んでいらっしゃるようですね」とあり、儀礼の枕詞に過ぎないと分かってはいても、そんな手紙に接すると、一日中気分が良いものである。もっとも調子に乗せられて「趣味が読書で、年間200冊は読んでいます」なんて自慢すると、阿房列車になってしまうので、「単なる活字中毒患者です。ハングルやアラビア文字でさえなければ、チラシ広告でもアジビラでもいいのです」と正直にお答えしている。実は筆者でも年間200冊程度の本は読んでいる。但しその大半は雑誌である。内訳は月刊が文藝春秋に丸(軍事情報)、週刊誌はポスト・現代・新潮・文春・ニューズウィーク、隔週刊はビッグコミック。合計すればちゃんと年間200冊は超えている計算になる。そのなかで、いま一番愛読しているのが文藝春秋とビッグコミックである。但し両者には違いがあり、前者が通勤電車の友であるのに対し、後者は間違っても電車の中では読まない。

ビッグコミックとは月刊誌時代(1968年創刊)からの長いつきあいであり、愛読のきっかけになった作品が御存知「ゴルゴ13」である。むかしはソ連KGBや東ドイツのシュタージといった諜報組織がゴルゴ13の敵役だったが、東西冷戦構造が崩壊して久しく、最近さいとう・たかを先生も敵役を探すのに苦労されているようだ。そのせいか最近ではゴルゴ13の愛銃M16が中国のタカ派の将軍やサイバーテロリストたちに向けられる事案が増えている。中国人が登場するゴルゴ13シリーズはむかしから多く、記憶に残る傑作に「狙撃のGT」という作品がある。60年代末の文化大革命のころ、CIAに保護され、列車でオーストリアからスイスに向かっている亡命スパイをゴルゴ13はオートバイで追尾しつつ狙撃する。当時の筆者は中国語を知らず、この作品で中国の諜報機関が「弁公室」と紹介されているのを信じて疑わなかった。アメリカがCIA、イギリスがMI6、ソ連がKGB、日本が内調、そして中国が弁公室だと理解していたら、あとになって弁公室は単なる「オフィス」を意味する中国語と知って愕然とした記憶がある。このビッグコミック、漫画とはいえども国際謀略、歴史もの、ゴルフ、グルメ、サラリーマンものと幅広いジャンルをカバーしており、いま連載中の作品ではSFの古典を漫画化した「星を継ぐもの」が面白い。連載はこれからジェイムズ・ホーガンの三部作「ガニメデの優しい巨人」、「巨人たちの星」と続くようで、むかし原作を読んでちっとも分からなかったのが、コミック版でようやく理解できるようになった次第である。

筆者はマンガしか読まないわけでもない。下手な文章を少しでも上達させるため、夏目漱石や志賀直哉の作品くらいは国語辞典代わりに手元に置き日日拳拳服膺したいと思っているが、やや敷居が高く、敬して遠ざくではないが、最近二人の弟子である内田百閒と阿川弘之の作品を代読することが多い。阿房列車と南蛮阿房列車である。もう少し軽い読み物を探せば、最近歳のせい人間関係に疲れを感じることも多く、そんなとき精がつく特効薬が生ビールとカツオの刺身をこよなく愛する椎名誠のエッセイだ。筆者もビール大好き、カツオは主食に近い存在である。喧嘩っ早い性格も似ており、何にでも番付やランキングを付けて

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

しまう性癖も一緒である。椎名誠の観察は鋭く、味噌ラーメンと豚骨ラーメンはどちらが偉いか、フィールド・ワークに基づく緻密な分析を展開するかと思えば、議論に飽きてくると「ビールスとアメーバの違いは、前者が空を飛び後者が地面を這う、以上！」と最後は人に結論を強要する。筆者も番付本が大好きで、「映画なんでもランキング」、「恐竜ランキング大百科」といった題名の本を見ればすぐ買ってしまふ。中国近現代史はわがライフワークであり、小人閑居して不善を為すわけではないが、つい中国共産党酒豪番付や身長番付、結婚回数ランキング等にトライしたくなるのである。

この前、このコラムで「ノッポの羅瑞卿」と「チンチクリンの鄧小平」のことを書いたが、そのヒントを教えてくれたのが極めて高名な中国要人である。もちろん筆者がサシで会える相手ではなく、彼の警咳に接したとき筆者の役目は単なる宴会の陪席者。宴会が終わり彼をホテルに送り届けたとき、スイートルームに招かれ随員や秘書官たちとの内輪の二次会が始まった。その飲み会で印象に残っているのは「太子党」の出自として幼いころ毛沢東や周恩来たちとどの位の距離感で接していたのかと聞いたときのこと。彼の父は重要閣僚を歴任した人物であり、若いころ長征にも参加し延安時代の毛沢東、周恩来は上司、鄧小平や楊尚昆は親友だったという。「子供のころ両親に連れられ中南海に行くと、昼メシ時になると親父がずかずかと陳毅や鄧小平の「弁公室」(オフィス)に入り込み、一緒に食事をしたものだ」と往時を懐かしんでいた。党中央で一番の巨漢は誰だったと訊くと即座に「羅瑞卿大将、毛沢東より更に大柄で185センチはあったはずだ」と断言し、尋ねもしないのに、その正反対の人物について、こんな小話をプレゼントしてくれた。

長征が終わり、黄土高原の果て延安に東の間の平和が訪れた。毛沢東と江青は未だ結婚していなかったが、両者は既に深い関係にあった。ある日二人は真つ昼間から「工作(=直訳すると仕事)」に励み、江青の嬌声は屋外に響き渡った。一戦終わった毛沢東がふと気付くと、大勢の同志が窓から二人の情事を覗き込んでいた。ところが稀代の英雄である毛沢東は慌てず騒がず、悠然と同志たちに話しかけた。

「おお、みなワシを気遣って見舞いに来たか。周恩来同志、劉少奇同志、賀龍同志も来てくれたか」そこで少し考え「そういえば鄧小平同志と胡耀邦少年がいないが、彼らはワシの見舞いに来てくれないのか？」

賀龍が答えた。「あの野郎たちは、踏み台を探しにすっ飛んで行きました」

中国の現代史を彩る偉大な小兵は鄧小平と胡耀邦、後者が更に小さかったような印象がある。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年9月22日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。